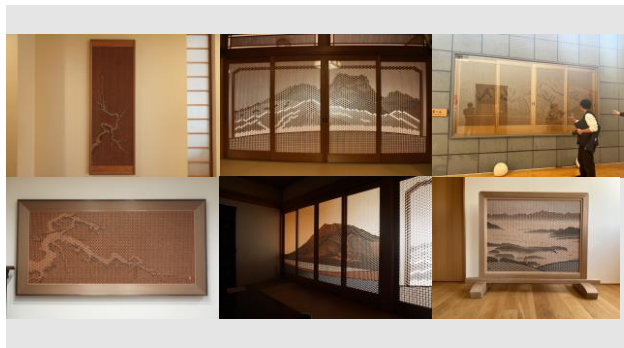


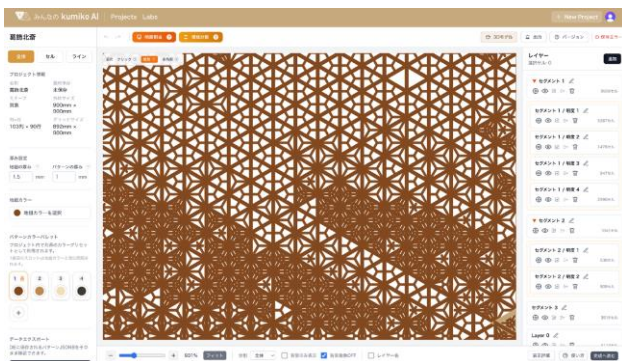
# 伝統工芸「組子」のデジタル技術活用による技能拡張と技術継承

—日本の伝統木工技術「組子」を世界で注目される「kumiko」へ—



## Research

組子職人の制作工程や完成作品を対象に、構図、陰影、抽象化の手法を詳細に調査・記録し、作品アーカイブとして蓄積する。さらに、題材となる絵画や日本画の構成手法とも照らし合わせながら分析を行うことで、これまで経験や感覚に依存してきた組子表現を整理・構造化し、設計に活用可能な知識として再定義する。これにより、組子の価値を「技術」から「設計思想」へと拡張する。



## Software

共創型組子デザインシステム「kumikoAI」を開発し、画像やテキストからのデザイン生成に加え、編集、セグメンテーション、閾値調整、三次元モデル検証といった機能を統合した設計環境を構築する。AIによる生成結果をそのまま用いるのではなく、職人が介入し調整することを前提とすることで、感性とデジタル技術を接続する共創型の設計プロセスを実現し、組子表現の設計可能性そのものを拡張する。



## Works

kumikoAIを用いた実作品制作や国内外での展示プロジェクトを通じて、新たに獲得した設計手法や三次元組子表現を実空間に実装する。建具や装飾といった従来用途にとどまらず、展示空間や公共空間におけるアート表現として組子を提示することで、鑑賞体験や空間価値そのものを更新し、組子の文化的・社会的価値を実作品として拡張する。